

その先へ！

年内入試（学校推薦型・総合型選抜）ひとくぎり

9月以降、校内あらゆるところで3年生徒が面接・志望理由書・小論文・集団討論等の個別指導を受ける様子が毎日のように見られました。授業の準備、ご自分の担任のクラスの生徒の面談、部活動指導等の時間を割いて献身的にサポートしてくださいました先生方に報告と感謝をしましょう。しかし、結果は人それぞれ。高倍率しかり、競合相手のレベルの高さしかり。どんなに入念に準備をして取り組んでも思うように結果が出ないことはあります。そんな時、いかに上手に気持ちを切り替えるかで、次のチャンスの結果が分かれることも多いものです。あせらず、くらべず、あきらめず。道は閉ざされていないことを忘れずに。最後まであきらめないことで、本当にほしかったものが手にはいります。

大学入学共通テストまで、1ヶ月を切りました

大学入学共通テストまであと少し。これからは学習面の対策も必要ですが、試験本番に向けての「心構え」も大切になってくる時期です。以下のポイントを押さえて、共通テストに臨みましょう。

試験当日の過ごし方も考えておこう

大学入学共通テスト当日は、試験開始までの待ち時間の過ごし方も大切なポイント。参考書やノートなどで最終チェックをする、リラックスして待つなど、どんなふうに過ごせば自分の実力が最も発揮できるのかを、模試や演習などをを利用して確認しておこう。昼食時の気持ちの切り替えも重要だ。

優先順位をつけて問題を解くこと

時間を有効に使うためには、問題を解く順番も大切。解き始める前にすべての設問に目を通し、確実に解ける自信のある設問から解くよう心がけよう。

1点も無駄にしないマーク記入ルール

- わからない設問があっても、とにかくすべての設問にマークすること
- 訂正をする際には、跡が残らないよう 完全に消しゴムで消すこと
- 1つの設問に2個以上のマークをしていないかを確認すること
- 「記入欄のズレ」などはないか、問題冊子と突き合わせて確認すること

自己採点を正確にするために

個別学力検査の出願は、大学入学共通テストの自己採点結果をもとに決定することになる。自己採点を正確に行うため、受験中は解答番号を問題冊子に必ず控えておこう。

試験日	出題教科・科目		試験時間
1/17 (土)	地理歴史	『地理総合』『地理探究』 『歴史総合』『日本史探究』 『歴史総合』『世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』	【2科目選択】 9:30～11:40 【1科目選択】 10:40～11:40
	国語	『国語』	13:00～14:30
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	【リーディング】 15:20～16:40
			【リスニング】 17:20～18:20
1/18 (日)	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』	【2科目選択】 9:30～11:40 【1科目選択】 10:40～11:40
	数学①	『数学I』『数学I・数学A』	13:00～14:10
	数学②	『数学II』『数学B』『数学C』	15:00～16:10
	情報	『情報I』	17:00～18:00

大学入学共通テスト後の日程	
1/17(土)～1/18(日)	大学入学共通テスト
1/17(土)～1/18(日)	正解等の発表
1/19(月)	自己採点
1/20(火)～	特別講座(補習授業)
1/21(水)予定	平均点等の中間発表
～1/25(日)	面談など*で出願校を検討
1/26(月)～2/4(水)	国公立大出願
2/5(木)予定	平均点等の最終発表
2/25(水), 26(木)	前期個別学力試験
3/8(日)	中期個別学力試験
3/12(木)	後期個別学力試験

*必要に応じて1/24(土)25(日)に保護者を交えた三者面談を行います。

*1/20(火)以降、受験校・受験科目に応じて特別講座(補習授業)を行います。お弁当の用意が必要な場合もあります。

●入試スケジュール(2026年度入試)●

私立大

国公立大

共通テスト出願

一般入試出願

11月中旬～3月末

共通テスト

1月17日・18日

共通テスト(追試験)

1月24日・25日

試験

個別学力検査出願

1月～

合格発表

1月下旬～

1月26日～2月4日

前期試験

2月25日～

国公立大個別学力検査について

～最後まであきらめないことが合格につながる～

一般選抜の場合、国際教養大など一部の大学を除くと「前期日程」「中期日程」「後期日程」の組み合わせで最大3校の受験が可能です。しかし、前期日程で合格し、入学手続きを取ると、他の中・後期日程を受験していても合格対象にはならないため、第1志望校は前期日程で受験することが一般的です。

後期日程については、定員が少なく志願倍率が高くなる傾向にありますが、実際は前期日程合格者がほぼ受験しないので、合格のチャンスは決して小さくはありません。また、前期日程から後期日程の間は2週間以上もあり、弱点分野の克服なども可能です。

特に国公立大を志望している場合は、私立大合格だけで安心せずに、最後まで国公立大をめざすことが重要です。最後まであきらめないことが希望進路実現への近道なのです。

私立大入試について

～情報収集が希望進路実現のカギ～

私立大については、2月以降に出願できたり、地方入試(学外試験)や方式別入試が設けられていたりなど、様々な入試のスタイルがあります。情報収集をこまめに行なうことが希望進路実現につながります。

いざというときに困らないように、私立大入試スタイルの主な例をご紹介します。

- 試験日自由選択制…同一学部・学科で、試験日を2日以上設定し、受験生の都合のよい日に受験できる制度。
- 方式別入試…同一学部・学科で、入試科目や配点などが異なる複数の選抜方法から選択して受験できる制度。
- 全学部統一入試…学部ごとの試験日のほかに、全学部の入試を同一日に一斉に行なう制度。
- 地方入試(学外試験)…大学の所在地以外の地域に試験会場を設けて行われる入試。

最後に ~受験計画は保護者の同意が必要~

大学進学には経済的な負担も伴います。受験料のほかに、交通費・宿泊費などが発生しますし、合格が決まれば入学金や授業料、場合によっては下宿費用、私立大では一時金などの支払いについても考えなければなりません。そのため、「どんな大学を、何校受験するのか」といった受験計画については、ご家庭で十分話し合い、保護者の同意を得ておく必要があります。

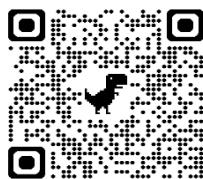
上記のスケジュールからも明らかなように、2月以降は大変ハードな日程になります。体調管理や受験計画などについて、少ない時間の中で話し合うことが必要になります。

保護者の皆様へ

日ごろからの本校の教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。受験も大詰めに入りました。保護者の方々もご心配が多い時期とは思いますが、ぜひ、お子さまの成長を信じ、ご家庭を安心できる場所として応援していただけるとありがたいです。気になることがあれば、遠慮なくご相談ください。右のQRコードからアクセスしていただければ、追ってこちらからご連絡させていただきます。

今年度の卒業証書授与式については、令和8年3月3日(火)を予定しております。

詳細については後日改めてお知らせいたします。



金津高等学校 3年学年会へのご意見はこちらから